



南国時報

第 83 号

昭和41年12月30日

編集発行
南国市広報委員会

事務所
高知県南国市役所内
(電 2111)

印刷 川北印刷株式会社
(電 3151・有線155-11)

交通事故の

追放へ



「市民の市民による交通安全」を合言葉に全国にきかけて市に独自の『交通安全日』が設けられました。去る十日はその第一回日の事故ゼロの日でしたが、当日は金堂市長を陣頭に市職員たちが主体となって、街頭での指導、車による宣伝やモーターによるパレードなどを行ない市民に事故防止の呼びかけを行いました。

12月の人口

= 11月の異動 =

出生	165	死亡	129
転入	1,072	転出	708
11月末の人口	42,490		
世帯数			
11月末	11,530		



▼人間誰でも欲がある。立派な家にもすみたい、美味しいものが喰べたい、美人を妻に持たいたい、遊びたい、これらの欲をみすには先づ金を手になくしてはならない、そのためには働かねばならぬ。田園都市たる南国市の大部分の農民が金を得る方法は種々あるのだが、ハウス園芸は最たるものだ。先日出荷場の落成式で話によれば県全体で百二十億圓に達しており二百億圓の目標に達しよう。市でも三億圓突破に間近いという。ピーマン一個が卵一個とくらべられる時代である。このハウス園芸が農閑期の冬にやれるとは実に有利である。暖かさにおいては上佐は日本の筆頭に位置している。

▼年末がせまった一年中で最も金のほしい時期である。今農家にそくぞく金が入っているのは園芸農家だ。ハウス園芸は県下でも東や西の土地のせまい場所から始まり、いまや一番土地の広い南国市の香長平野に急速に広まりつつある。時代の波である、波に乗る乗らぬはやはり人の頭である。